

福島第一原子力発電所 各タンクエリアの貯蔵用途の変遷

<RO濃縮水・多核種除去設備処理水・ストロンチウム処理水等>

【凡例】

<タンクエリアマップ>

○ RO濃縮水・多核種除去設備処理水・ストロンチウム処理水等のいずれかに使用しているタンクエリアを記載。

○ ひとつのタンクエリアに複数の水を貯蔵している場合は、「イメージ」としてタンク奇数の比率を色分けして反映。（実際のタンク位置ではない）

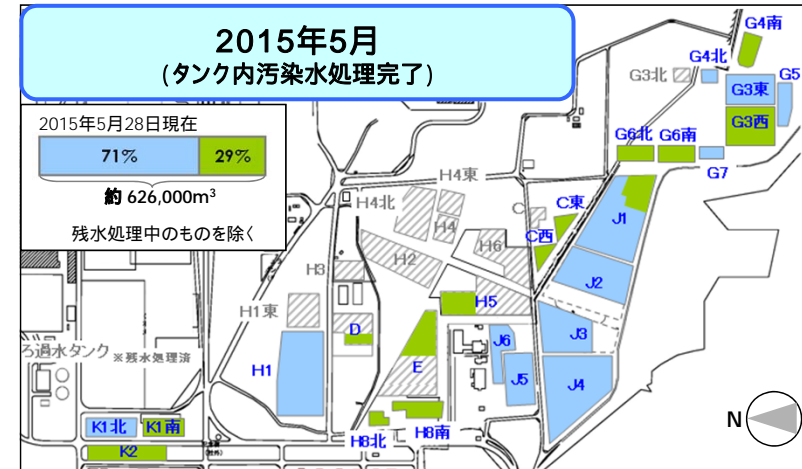
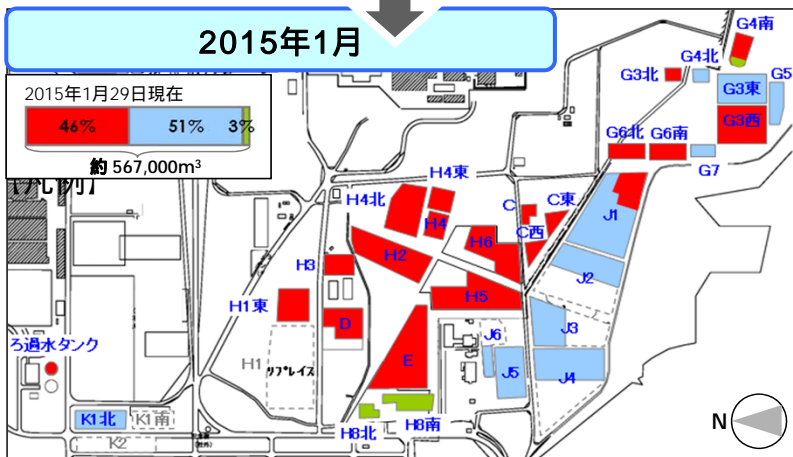
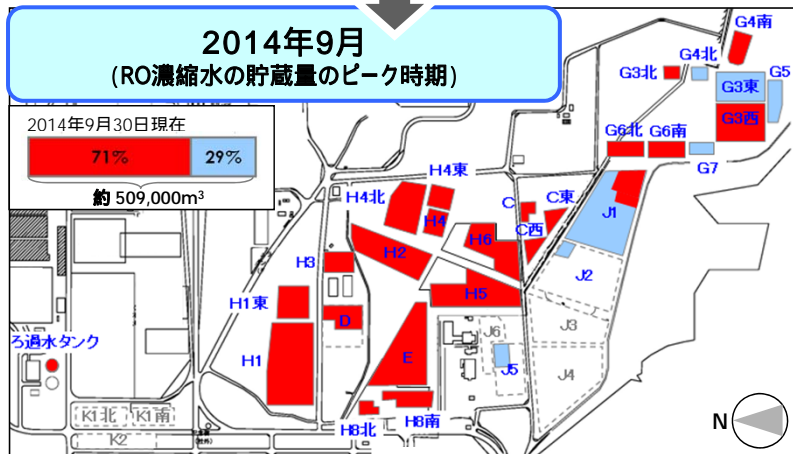
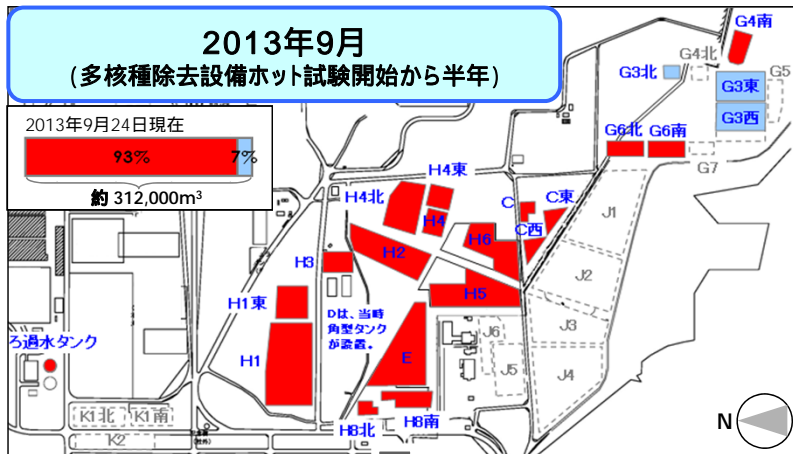
- RO濃縮水に使用しているタンクエリア
- 多核種除去設備処理水に使用しているタンクエリア
- ストロンチウム処理水等に使用しているタンクエリア
- 残水のみとなったタンクエリア
- 設置が完了していないタンクエリア

<マップ内の棒グラフ>

○ マップの同月末におけるRO濃縮水・多核種除去設備処理水・ストロンチウム処理水等の合計貯蔵量を全体とした場合の内訳をグラフ化。

○ データは、毎週公表している「高濃度の放射性物質を含むたまり水の貯蔵及び処理の状況」の実績を引用。

- RO濃縮水
- 多核種除去設備処理水
- ストロンチウム処理水等



ストロンチウム処理水等については、今後、多核種除去設備で再度浄化し、さらなるリスク低減を図る。

日々建屋に流入する地下水等は、セシウム吸着装置及び第二セシウム吸着装置により、ストロンチウム処理水にした後、多核種除去設備で浄化を継続していく。

残水処理は、安全を最優先に考え、ダストの飛散防止・被ばく防止対策等を十分に施しながら、タンク解体時に実施していく。

